

平成17年度 事務事業評価表					
(様式1)					
記入年月日	平成17年4月22日			記入者	内線 2695
部 名	保健福祉部	課 名	こども施設課	課長名	
事務事業名	放課後児童健全育成事業				
予算上の事務事業名	児童クラブ整備費				
1 総合計画における位置づけ	施策コード			13120	
基本目標	「学びあいあたたかさのある福祉文化都市」をめざして				
政 策 名	第3章 子どもが健やかに育つ環境づくりを進めます				
基本施策名	第1節 子育て環境づくりの推進				事業開始年度
施 策 名	第2施策 子育て支援の充実				昭和63年以前 ▼
2 実施根拠及び関連法令・条例等	児童福祉法、児童クラブ条例				
3 個別計画の概要	概要				
計画名	児童厚生施設整備計画		全小学校区への公設児童クラブの早期整備		
計画年次	平13年度	年度～	年度		
4 事業形態の区分	建築・整備・重要物品購入 ▼				
5 事業概要	(1) 事業の目的(何のために行うのかまたはもたらしたい成果) (2) 対象(誰、何)				
保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童に対し、授業の終了後に適切な遊びや生活の場を与えて、その健全な育成を図ることを目的としている。本市では児童厚生施設整備計画の中で全小学校区への児童クラブの設置を早急に行うこと定め、平成16年度末で整備が完了した。一方、既存施設は老朽化が進み、また、特定の小学校の児童数や共働き世帯の増加などの理由から待機児童の解消が求められており、児童クラブの計画的な建替えを行い、施設の安全の確保及び待機児童の解消を図るもの。			保護者が労働等により昼間家庭にいない小学校低学年の児童		
(3) 平成16年度事業の内容(活動)・・・いつ、どのような方法で実施した内容(活動)なのか。					
宮上児童クラブ及び若松児童クラブの新設 宮上児童クラブ 敷地面積 316.14㎡ 延床面積 約130㎡、定員50名 若松児童クラブ 敷地面積 893.61㎡ 延床面積 約110㎡、定員40名					
6 関連・類似事業や他市の状況	こどもセンター建設事業				
7 事業費の推移	〔単位：千円〕				
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業費	65,539	179,036	84,417	63,315	118,729
一般財源	29,110	62,403	33,000	21,798	32,625
受益者負担金	0	0	0	0	0
その他の特定財源	36,429	116,633	51,417	41,517	86,104
人件費の合計	6,000	9,000	6,000	6,000	6,000
事業コスト合計(a)	71,539	188,036	90,417	69,315	124,729
8 事業効率・・・(複数の事業で構成されている場合は、その中の主たる事業)					
主たる事業名	児童クラブ整備事業			対象名称(単位)	
年 度	平成14年度(決算)	平成15年度(決算)	平成16年度(決算見込)	平成17年度(予算)	平成18年度(見込)
事業コスト(主たる事業)	71,539	188,036	90,417	69,315	124,729
対象数	3	7	2	2	2
単位あたり経費(円)	23,846,333	26,862,286	45,208,500	34,657,500	62,364,500
前年度比		1.13	1.68	0.77	1.80

9 活動指標・・・実施した内容（活動）の数値化						
指標名 (単位)	児童クラブ設置数		指標式と指標の説明	全小学校区への公設児童クラブの早期整備及び建替え整備		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	3.0	7.0	2.0			
目標	3.0	7.0	2.0	2.0	2.0	
目標達成度	1.00	1.00	1.00			
10 成果指標・・・対象と意図の達成度を表す指標						
指標名 (単位)	児童クラブ受入定員の拡大		指標式と指標の説明	公設児童クラブの待機児童の解消		
	平成14年度	平成15年度	平成16年度	平成17年度	平成18年度(目標)	
実績	2208.0	2542.0	2685.0			
目標	2279.0	2682.0	2952.0	2952.0	2952.0	
目標達成度	96.9	94.8	91.0			
11 個別評価						
(1) 妥当性の評価 【A：妥当である・B：妥当性に課題がある・C：妥当でない】						
A	<input type="checkbox"/>	法令等により実施することが義務付けられている。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	法令等に定められた市の責務を具体化して実施する事業である。				
	<input type="checkbox"/>	公益性が高い、または必需性が高い事業である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	将来にわたって、市民のニーズや行政需要がある。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	税金を投入して実施するにふさわしい事業であり、市民にも説明できる。				
(2) 有効性の評価 【A：有効である・B：有効性を高める余地がある・C：有効でない】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	上位施策の目的を達成するために大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	課題等の解決や市民生活に大きく貢献している。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	成果指標の実績値とその推移から見て、期待されるような成果をもたらしている。				
	<input type="checkbox"/>	事業の対象範囲は適切であり、対象は事業を実施したことによる効果を楽しんでいる。				
(3) 効率性の評価 【効率が良い・B：効率性を高める余地がある・C：効率が悪い】						
A	<input checked="" type="checkbox"/>	単位あたりの経費は適正である。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	これ以上コスト節減の余地がない。				
	<input type="checkbox"/>	受益者負担や補助等の割合に問題はない。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	事業の実施方法や実施体制は適正である。				
(4) 民間活力の導入の可能性 【有・無】						
有	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が経費の節減に繋がる。				
	<input checked="" type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方が技術・知識面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	業務の一部または全部について、民間で実施する方がサービス面で優れている。				
	<input type="checkbox"/>	民間では実施していない、または市が実施する方が優れている。				
12 総合評価						
(1) 自動判定結果						
	[]：良好な状態を維持する事業				
	[]：概ね良好な状況である事業				
	[]：見直しを行う必要がある事業				
	[]：抜本的な見直し、休止、廃止を検討すべき事業				
(2) 担当課の課長による評価（今後の方向性）			(3) 課長の評価に関する説明			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実		公設児童クラブの設置は1小学校に1箇所を原則として55小学校への整備を平成16年度に完了した。今後、待機児童の解消を図るため施設の増改築・定員の拡大を推進するとともに、老朽化した施設の建替えを進める。		
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				
13 成果の向上及び効率性を高めるための方策			14 課題として認識されたこと			
各小学校の児童推計及び周辺地区のマンション等の開発計画を勘案し、適正な規模での建替えを行い待機児童の解消を図る。			建替えを行う際の暫定運営場所の確保、及び周辺地区の開発計画の把握等			
15 二次評価						
(1) 行政評価会議による評価（今後の方向性）			(2) 二次評価コメント			
拡充・充実	<input checked="" type="checkbox"/>	拡充・充実				
	<input type="checkbox"/>	現状維持				
	<input type="checkbox"/>	見直し				
	<input type="checkbox"/>	廃止				